科目名	保　健　体　育Ⅱ Physical EducationⅡ			担当教員	中瀬巳紀生 吉澤恒星		
学　年	２年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	２
分　野	一般	授業形式	実技	科目番号	17120020	単位区分	履修単位
学習目標	様々なスポーツ種目の実践を通じて，①健全な身体の発達及び体力の向上，②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得，③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成，を目指す。						
進め方	学習目標①～③に対応して，スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお，種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	スポーツテスト（4） ソフトバレーボール（4） バドミントン・卓球（4） ソフトボール（4） ［前期中間試験］　実施しない	スポーツテストは文部科学省制定の新体力テスト実施要項に沿っておこなう。 実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 ・学習・教育目標：(D-3)
	ソフトボール（2） 水泳（8） 前期末試験　実施しない	実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 水泳においては、泳力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する ・学習・教育目標：(D-3)
	スポーツ大会練習（2） バレーボール（7） サッカー（3） 持久走（4） 体育大会（6） ［後期中間試験］　実施しない	実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 持久走においては、走力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する ・学習・教育目標：(D-3)
	バスケットボール（6） サッカー（6） スポーツ大会（6） 後期末試験　実施しない	実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 ・学習・教育目標：(D-3)

評価方法	・評価の割合は実技５０％，出席状況５０％とする。 ・出席状況は見学を－１点とし，欠課を－５０/３０点として５０点満点で評価する（半期毎）。なお，特別な事情がある場合は考慮する。 ・服装頭髪や実技中の行動などマナーが守れない者については減点する。
履修要件	・実技では指定の体操服を着用すること。 ・水泳授業時は水着・帽子を着用すること。 ・体育館では指定の体育館シューズを履き，運動場では運動靴を履くこと（革靴等不可）。
関連科目	保健体育Ⅰ１年→保健体育Ⅱ２年→保健体育Ⅲ３年→保健体育Ⅳ４年→保健体育Ⅴ５年
教　材	教科書：現代保健体育（大修館書店）
備　考	グラウンド状況が不良の場合は，特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は，本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので，必ず修得すること。